

【大会要項】

- ベースボール型スポーツの人口減少に伴い、本県においても、学童やリトルリーグ、中体連やシニアリーグなどで、選手確保が問題となってきました。

そこで「ティーボール」を用いるなかで、ティーボールの普及、ベースボール型スポーツの魅力発信や選手の育成を図ることで、本県のベースボール型スポーツの継続や更なる発展につなげることを目的とします。

また、本年度開催予定の全国大会長野県代表予選を兼ね、本トーナメントを通して、勝負の楽しさはもちろん、思いやり、協力等が必要となる場の確保や地域選手同士の交流を深め、低学年における貴重な経験をもとにし、心体の育成を図るものとします。

-
- Teeball**

- Survey and design SHINASOKU
株式会社 しなすく

- 小布施町スポーツ少年団 B(小布施町) 延徳・中野学童クラブ(中野市)

- 8 競技方法 4会場に分かれ、ブロックにてリーグ戦2試合後、勝敗分け数により順位を決定。
(同位の場合は得失点差)ブロック1～2位の8チームにより決勝戦を行います。
(※交流戦1試合を組んでおります) 最低計3試合
1ゲーム30分、移動15分を設定しておりますので予め、準備してください。

- 9 競技規則 日本ティーボール協会のオフィシャルルールとする。ただし、本トーナメント戦では、以下のルールを採用する。

(1)塁間は16メートルとする。(HRラインを設定する)

(2)バットはSGマーク製品を使用する。サイズはS・M(小学生用)の2種類とする。

(3)ボールは、11インチゴムを使用する。グラブを使用すること。

(4)金属製スパイクは禁止する。

(5)競技者は10名とする。(小学生1年生～4年生)

ただし、予選リーグについては、両チーム協議のうえ、打撃のみ15名以内にて選手数を合したうえ、試合を行うことを認める。

(6)全員打撃制ルールとし、試合は2イニングとする。リーグ戦においては、勝敗が決定していても裏の攻撃は行う。(経験値向上のため)

(7)ベンチ入りの選手数は25名以内(男女混合も可)。なお、選手の着用するユニフォームは異なっても構わない。

(8)ボールが内野に帰った場合などゲームの流れが止まった時に審判の判断によりタイムを宣告しアウトオブプレーとなる。

(9)最終回となる2イニング目の最終打者によるインフィールドフライの適用は無いものとし、フライアウトにてゲーム終了となる。

(10)ゲームのないチームから「役員」として、審判2名以上及び記録係2名以上にてゲームの運営をお願いします。なお、結果を事務局までお知らせください。

- 10 その他 (1)当日、8時00分より、北グラウンド管理棟前にて、代表者・監督会議を行いますので、参集ください。

(2)本トーナメント戦参加者ならびに関係者の傷害事故等については、主催者は応急対応以外の一切の責任を負わないので十分にご配慮ください。

(3)本トーナメントにて優勝したチームを第29回全国小学生ティーボール大会(11月29日(日)ベルーナドーム開催)に出場推薦しますので、参加するチームは、予め本大会要綱等、特に参加費についてご確認ください。

(4)大会運営時間上、昼食時間を取りません。各チーム適宜時間を設けていただくようご配慮願います。

- 11 問合せ先 みゆき野ベースボールグロウアップ委員会事務局長 奥原 司
090-4460-2802 EMAIL:oku.t.0310@gmail.com

